



令和6年(2024年)8月9日

社会福祉法人清流

さつきの家

施設長 小川裕子

「さつきの家」だより

8月です! 8・6ヒロシマ・8・9ナガサキの原爆祈念日を通して、「平和」をかみしめました。私は、ここに集ったみんなの笑顔を守りたい。ここにある「あたりまえ」を嬉しく幸せに思います。3年目の「さつきの家」に新しく加わった仲間は、毎日を楽しめましたか? あなたたちの日々少しずつ緩んでくる表情に、これでいいよね、と思えています。どうぞ、これからもよろしくお願いします。

～前半を終えて～

現在11名の仲間を、18名の職員が日々支えています。支援員は、障害のある仲間を支えるのが仕事ですが、案外もちつもとれつの毎日です。まっすぐに素直なみんなに、日々試されています。自分の在り方・考え方、自分自身をみつめる毎日です。日々の活動の様子はインスタグラムでお知らせしているので、大枠はつかんでくださっているのではないのでしょうか。目には見えにくい内面の変化は、職員と確認しあいましょう。よろしくお願いします。

前半を振り返って、保護者のみなさまには、心から感謝です。いつの時も協力的でした。ありがとうございます。夏の販売の協力も心強かったです。おかげ様で総売り上げ50万円を超えました。さつきの家は、自主製品づくりに挑戦し続けています。仲間たちのがんばりが、嬉しいです。今年度新たにみんなのものになった手技は、「トントン染め」です。トントンという金づちの音と共に、目の前の小さな花が、そのまま和紙に映っていきました。だんだんコツもつかめてきています。「ふれ愛プラザ」での販売体験にも出かけました。少しずつ体験者を増やしていきたいです。修道大学との交流も、平田ゼミ+三木ゼミという風に、広がってきています。そこで生まれるものは、人と人との「つながり」ではないでしょうか。

8月8日木曜日の帰りのボンバスが、事故に遭いました。飛谷くんが乗っていて、事故に遭ったのです。運転手さんが、(この子は始発から終点まで乗っている子だ)と、気づき、まわりの修大生が「さつきの家だよ。」と、発信してくれたとのことで、警察から連絡がきて、奈木野副施設長が現場に駆けつけてくれました。何事もなく、良かったです。自主通所している彼の日々の頑張り、その姿を温かく見守ってくれている存在が明らかに見えてきて、幸せな気持ちになりました。米ホーム工場のパンが受け入れられ、広がっていった

いるように、「さつきの家」も地域に理解されてきています。感謝💛

※「さつきの家だより」は、地域みなさまに理解していただきたいという願いを持って、定期的に発信していきます。ご意見等聞かせていただけると幸いです。

連絡先：社会福祉法人清流「さつきの家」 082-942-4778（電話）

082-942-4779（FAX）

satsuki-himawari@galaxy.ocn.ne.jp（メール）